

## 文化・芸術

原画名…シヨット・ディ・ボンドーネ

「荘厳の聖母(部分)」

原画制作年…1310年以前

板麻布(石こう地、金箔(きんぱく)卵黄テンペラ  
26・5センチ×18・5センチ)

有村麻里 (1973年)

現在大川美術館で開催中の企画展「模写展—ヨーロッパ古典絵画の輝きを解きあかす—」から、出品作品の一つをご紹介します。

こちらはイタリヤ絵画史上もっとも重要な画家のひとり、シヨットが描いた「荘厳の聖母」(ウフィッツィ美術館蔵)の中から、中央右に  
いる天使の部分を模写した作品になります。原  
画は縦3呎、横2呎を超す祭壇画  
です。天使が持つ黄金の器は、キ  
リスト教儀式の中でキリストの体  
として用いられるパンを入れるも  
のであり、キリストに起こる苦難  
を表しています。

有村麻里は群馬県に生まれ、イ  
タリヤ留学を経つつ東京芸術大学  
で保存修復を学び、現在は修復家  
として活躍しています。修復家と  
は歴史的美術品の劣化を防いだ  
り、自然災害や事故などで損傷を  
受けた美術品を修理したりする専  
門家のことです。修理をするため  
にはどのように描かれているのか  
研究する必要があります。こうした模  
写はその研究基盤となります。

(池田)

名画の扉

大川美術館企画展から

